

報告事項エ

令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜の状況について

令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜の状況について、別紙のとおり報告します。

令和7年4月14日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜の状況について

令和7年4月14日
高等学校課

1 特色入学者選抜

(1) 概要

① 日程

出 願 期 間	令和7年1月23日及び24日
検 査 日	令和7年2月 3日
合 格 発 表	令和7年2月10日

② 特色入学者選抜実施校数等

	全日制課程	定時制課程
令和7年度	20校／22校	1校／4校
令和6年度	20校／22校	1校／4校

③ 全日制課程における受検者数等 () 内の数字は県外募集人員及び志願者数で内数

地 区		募集定員	特色募集人員	志願者数	受検者数	実質 競争率	入学 確約者数
東部	R7 年度	1,514 人	373 人(35 人)	334 人(12 人)	332 人(11 人)	0.89	283 人(11 人)
	R6 年度	1,514 人	368 人(31 人)	278 人(23 人)	277 人(23 人)	0.75	243 人(23 人)
中部	R7 年度	694 人	200 人(39 人)	273 人(11 人)	272 人(11 人)	1.36	197 人(9 人)
	R6 年度	694 人	164 人(29 人)	178 人(17 人)	177 人(17 人)	1.08	146 人(13 人)
西部	R7 年度	1,520 人	344 人(30 人)	486 人(15 人)	485 人(15 人)	1.41	317 人(11 人)
	R6 年度	1,520 人	344 人(30 人)	387 人(4 人)	384 人(4 人)	1.12	294 人(4 人)
計	R7 年度	3,728 人	917 人(104 人)	1,093 人(38 人)	1,089 人(38 人)	1.19	797 人(31 人)
	R6 年度	3,728 人	876 人(90 人)	843 人(44 人)	838 人(44 人)	0.96	683 人(40 人)

※募集定員に占める特色入試募集人員の割合 24.6% (令和6年度 23.5%)

(2) 特色入学者選抜の検査内容等について(面接・口頭試問はすべての実施校で実施)

検査内容	学校数	学校
学 力 検 査	3 校	鳥取工業…数学 青谷…国語、社会、数学、理科、英語から志願者が3教科を選択 八頭…スポーツ活動特色選抜、創造活動特色選抜ともに国語、数学、英語
作 文	10 校	岩美、智頭農林、倉吉東、倉吉農業、倉吉総合産業、鳥取中央育英、米子南、境、境港総合技術、日野
小 論 文	1 校	鳥取商業
プレゼンテーション	7 校	鳥取西、鳥取湖陵、八頭(創造活動特色選抜)、倉吉西、米子西、米子、日野
実 技 検 査	3 校	八頭(スポーツ活動特色選抜)、鳥取中央育英(スポーツ活動特色選抜)、米子工業

2 一般入学者選抜

(1) 日程

	一般入学者選抜	再募集入学者選抜
出願期間	令和7年2月14日から18日	令和7年3月21日及び24日
検査日	令和7年3月6日及び7日	令和7年3月25日
追検査	令和7年3月12日	—
合格発表	令和7年3月17日	令和7年3月26日

(2) 実施校数等

①一般入学者選抜

	全日制課程	定時制課程
令和7年度	22校42科6コース	4校4科
令和6年度	22校43科6コース	4校4科

※ 学力検査の結果については【別冊】のとおり

②追検査

	全日制課程	定時制課程
令和7年度	3校2科1コース	1校1科
令和6年度	8校7科1コース	1校1科

③再募集入学者選抜

	全日制課程	定時制課程
令和7年度	18校29科2コース	4校4科
令和6年度	18校37科2コース	4校4科

(3) 全日制課程における一般入学者選抜受検者数等

地 区		定 員	一般入試 実質募集定員	*学力検査 受検者数	合格者数 (追検査受検者を含む)
東部	R7年度	1,514人	1,235人	1,036人	1,010人
	R6年度	1,514人	1,273人	1,065人	1,045人
中部	R7年度	694人	498人	380人	377人
	R6年度	694人	549人	441人	436人
西部	R7年度	1,520人	1,203人	1,084人	997人
	R6年度	1,520人	1,226人	1,054人	998人
計	R7年度	3,728人	2,936人	2,500人	2,384人
	R6年度	3,728人	3,048人	2,560人	2,479人
	増 減	0人	△112人	△60人	△95人

*学力検査受検者数は、追検査における学力検査受検者は含まない

(4) 追検査受検者数等

		全日制課程	定時制課程	計
東部	R7 年度	2 人	0 人	2 人
	R6 年度	4 人	1 人	5 人
中部	R7 年度	1 人	0 人	1 人
	R6 年度	2 人	0 人	2 人
西部	R7 年度	1 人	1 人	2 人
	R6 年度	4 人	0 人	4 人
計	R7 年度	4 人	1 人	5 人
	R6 年度	1 0 人	1 人	1 1 人

(5) 再募集入学者選抜受検者数・合格者数等

		全日制 受検者	定時制 受検者	受検者 計	全日制 合格者	定時制 合格者	合格者 計
東部	R7 年度	9 人	6 人	1 5 人	2 人	4 人	6 人
	R6 年度	2 人	3 人	5 人	2 人	0 人	2 人
中部	R7 年度	4 人	1 人	5 人	2 人	1 人	3 人
	R6 年度	3 人	2 人	5 人	3 人	2 人	5 人
西部	R7 年度	6 人	5 人	1 1 人	4 人	4 人	8 人
	R6 年度	7 人	1 0 人	1 7 人	3 人	5 人	8 人
計	R7 年度	1 9 人	1 2 人	3 1 人	8 人	9 人	1 7 人
	R6 年度	1 2 人	1 5 人	2 7 人	8 人	7 人	1 5 人

3 通信制入学者選抜

学校名	受験者	合格者
鳥取緑風	2 0 人	1 4 人
米子白鳳	4 9 人	4 9 人
合計		

令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜
学 力 検 査 結 果 （ 得 点 状 況 等 ）

鳥取県教育委員会

令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和7年度	26.8	28.7	26.6	23.7	27.2	133.0

令和7年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 2,500人
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去14年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和6年度	31.5	23.9	23.8	27.0	25.4	131.5
令和5年度	30.9	31.8	26.9	26.0	28.2	143.8
令和4年度	31.8	24.7	26.7	28.2	25.8	137.1
令和3年度	29.0	35.3	24.4	27.0	28.7	144.4
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語
0	～ 2	1	8	22	24	3
3	～ 4	1	8	36	42	14
5	～ 6	10	29	42	82	48
7	～ 8	17	44	56	106	71
9	～ 10	32	49	61	129	129
11	～ 12	61	61	74	144	130
13	～ 14	78	92	80	123	129
15	～ 16	99	87	112	144	103
17	～ 18	126	120	136	129	129
19	～ 20	160	91	136	114	99
21	～ 22	175	127	143	150	96
23	～ 24	185	119	157	133	106
25	～ 26	227	142	170	131	105
27	～ 28	223	134	163	133	120
29	～ 30	213	174	153	119	101
31	～ 32	201	193	166	125	132
33	～ 34	204	171	144	117	130
35	～ 36	183	165	136	113	141
37	～ 38	135	191	114	117	149
39	～ 40	90	152	115	116	133
41	～ 42	47	146	85	91	140
43	～ 44	23	82	77	56	116
45	～ 46	7	76	62	41	99
47	～ 48	2	25	42	16	59
49	～ 50	0	11	17	2	17
受検者数		2,500	2,497	2,499	2,497	2,499

【総得点における度数分布】

総得点			人数
0	～	5	0
6	～	10	1
11	～	15	1
16	～	20	3
21	～	25	2
26	～	30	7
31	～	35	19
36	～	40	28
41	～	45	26
46	～	50	29
51	～	55	39
56	～	60	39
61	～	65	56
66	～	70	58
71	～	75	60
76	～	80	66
81	～	85	58
86	～	90	77
91	～	95	65
96	～	100	57
101	～	105	68
106	～	110	77
111	～	115	87
116	～	120	86
121	～	125	80

総得点			人数
126	～	130	81
131	～	135	92
136	～	140	88
141	～	145	74
146	～	150	93
151	～	155	87
156	～	160	70
161	～	165	77
166	～	170	68
171	～	175	92
176	～	180	81
181	～	185	76
186	～	190	83
191	～	195	94
196	～	200	69
201	～	205	70
206	～	210	47
211	～	215	26
216	～	220	20
221	～	225	12
226	～	230	8
231	～	235	2
236	～	240	1
241	～	245	0
246	～	250	0
受検者数			2,500

令和7年度鳥取県立高等学校入学選抜学力検査の出題のねらいと分析

【 国 語 】

＜出題のねらい＞

知識及び技能を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。

＜分析＞

- ・基礎的・基本的な言語事項を問う問題において、手紙の知識を問う問題は、正答率がかなり低いものがあつた。文法の知識を問う問題は、文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることに課題が見られ、正答率も5割に満たなかった。漢文の知識を問う問題は、漢文の形式の理解が不十分だった。
- ・文学的な文章において、語句の意味を問う問題の正答率は、2割程度にとどまった。登場人物の心情を説明する記述問題の正答率が低かった。
- ・説明的な文章において、文章全体と部分との関係に注意しながら、具体的に表現し、解答する力に課題がある。
- ・古文において、全体の文脈を問う問題について正答率がやや低かった。
- ・作文において、自分の考えが伝わる文章になるように、与えられた条件に従い、資料やグラフを結び付け、根拠を明確にして書くことに課題がある。
- ・正しく読み書きする基本となる文法の分野において、言葉の係り受けの関係を正しく理解する必要がある。
- ・文学的な文章において、文章の流れの中にある意味や内容の繋がりを正確に理解し、言葉や文章で直接的には表現されていない真意や心情を読み取る力が求められる。
- ・説明的な文章において、対比関係を明確にし、全体の内容を把握したうえで、部分を理解しようとする姿勢が求められる。

【 社 会 】

＜出題のねらい＞

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料を適切に読み取り、思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題した。

＜分析＞

- ・基本的な知識や概念を問う問題についての正答率は高かった。
- ・社会的な見方・考え方を働かせながら、資料等を読み取り思考する問題において、無答率が低かった。
- ・並べ替え問題の正答率は昨年より低く、歴史的なできごとと資料を関連付けることができなかった結果であると考えられる。
- ・雨温図の読み取りに関する問題の正答率は昨年と同様に低かった。
- ・複数の資料を活用して地域的特色をつかむ問題や、資料をもとに、既習の知識を活用し、思考、判断し説明する問題において、適切に資料を読み取っている解答が多かった。
- ・グラフを読み取る問題において、既習知識と適切に関連付ける解答が少なかった。
- ・地理的分野では、世界の各州の地域的特色や課題、また、世界の各地域と日本の結び付き等に着目し、多面的・多角的に考察する力が求められる。
- ・歴史的分野では、各時代の特色の適切な理解とともに、特に近現代において、日本と世界の動きとの関連に着目しながら、社会の変化の様子を的確に捉えることが重要である。
- ・公民的分野では、現代の社会生活や国際社会の動向と関連付けながら、課題について公正に判断し、表現する力が必要である。
- ・小学校での学びや三分野相互、他教科・他領域との関連等も踏まえ、持続可能な社会に寄与する公民としての資質・能力を育成する授業づくりが求められる。

【 数 学 】

＜出題のねらい＞

基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、既習の基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる問題、数学的な見方・考え方を働かせて論理的に考察する力をみる問題を出題した。

＜分析＞

- ・ 基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高く、学習の成果がみられる。
- ・ 関数の定義や変化の割合に関する問題や、図形の性質を利用して解く問題の正答率が低かった。
- ・ 必要な情報を整理して立式する問題、問題の意図をくみ取って解答する問題の正答率が低かった。
- ・ 基礎となる事柄のより一層の定着を図り、それらを基に根拠や理由に着目して考えさせる指導、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決を図る学習過程を、より充実させていくことが重要である。

【 理 科 】

＜出題のねらい＞

理科については、基礎的・基本的な知識を問う問題や、観察・実験の結果を読み取り考察する問題を出題した。

＜分析＞

- ・ 重要語句等の知識を問う問題の正答率が高かったが、説明や作図問題、化学反応式の正答率が低く、計算問題の無答率もやや上昇し、平均点は昨年度よりやや下がった。
- ・ 与えられた条件や実験結果などを整理し、規則性や関係性を見いだすことやそれらを用いて数値を求めることなどに課題が見られた。
- ・ 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、日常的な体験と関連付けて科学的に探究する態度を育てたい。
- ・ 授業において、生徒自身が問題を見だし、自ら進んで探究する活動を行い、分析して解釈することを通して、規則性を見いだしたり、課題を解決したりする学習活動が大切である。
- ・ 観察・実験で得られたデータを分析し、根拠を明らかにして説明したり、グラフ等を用いて論理的に相手に伝え、対話することで、自らの考えをより深めたりする活動の充実が求められる。

【 英 語 】

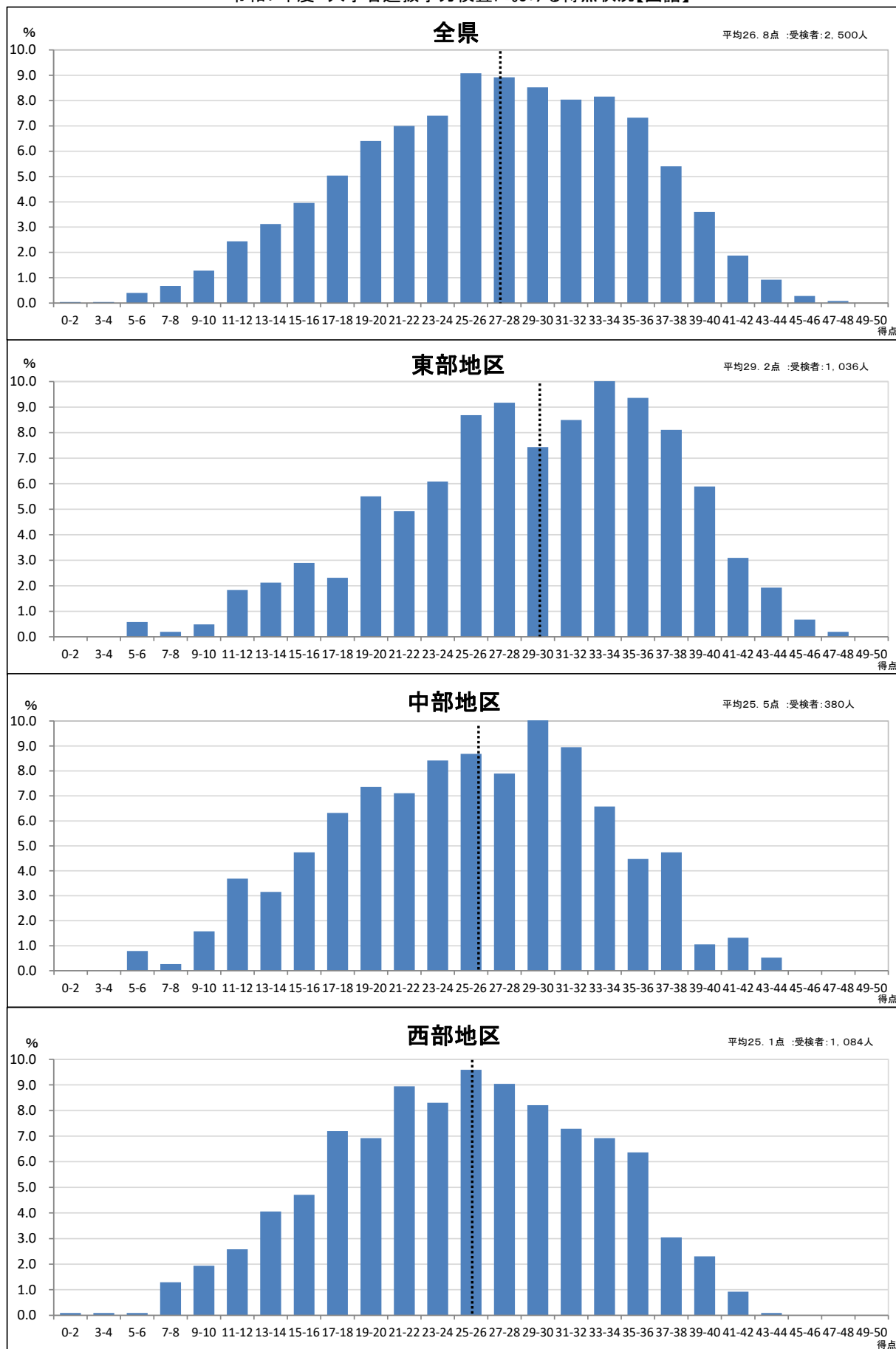
＜出題のねらい＞

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話や、日常的及び社会的な話題に関するまとまりのある文章を題材に出題した。

＜分析＞

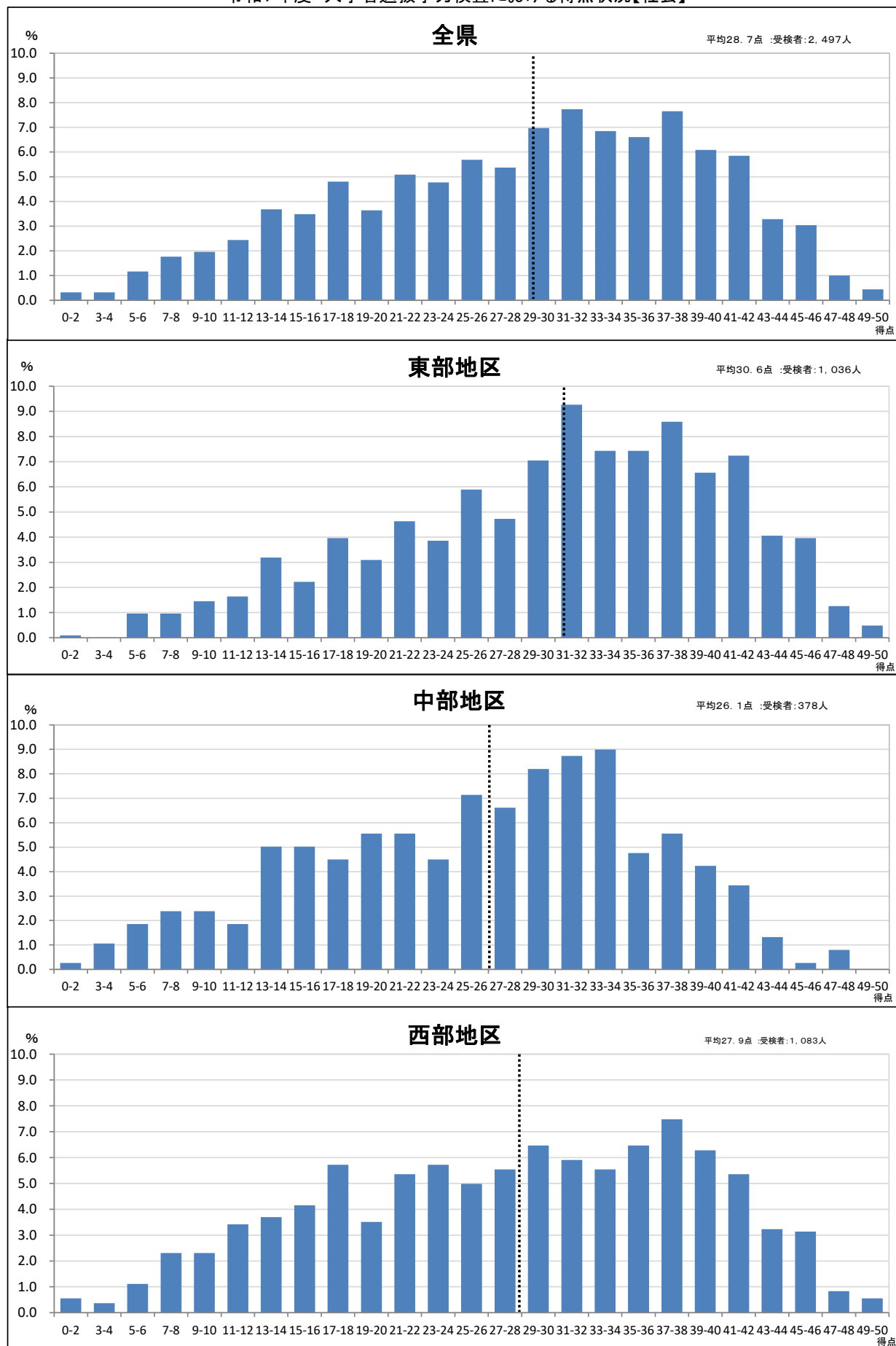
- ・ 英文を聞いたり読んだりして、答えにつながるキーワード等を参考にして情報や要点を捉える問題の正答率は高かったが、複数の情報を整理・統合し的確に理解する問題や、聞き取った内容をふまえて場面に応じた英文を書く問題、知識・技能を活用して文を完成したり、自分の考えを表現したりする問題の正答率は低かった。
- ・ 今後は、普段の授業において、深い理解を促す活動の工夫や、考えや情報などを適切に表現するための言語面の正確さを高める指導、及び複数の領域を統合した言語活動の充実が求められる。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



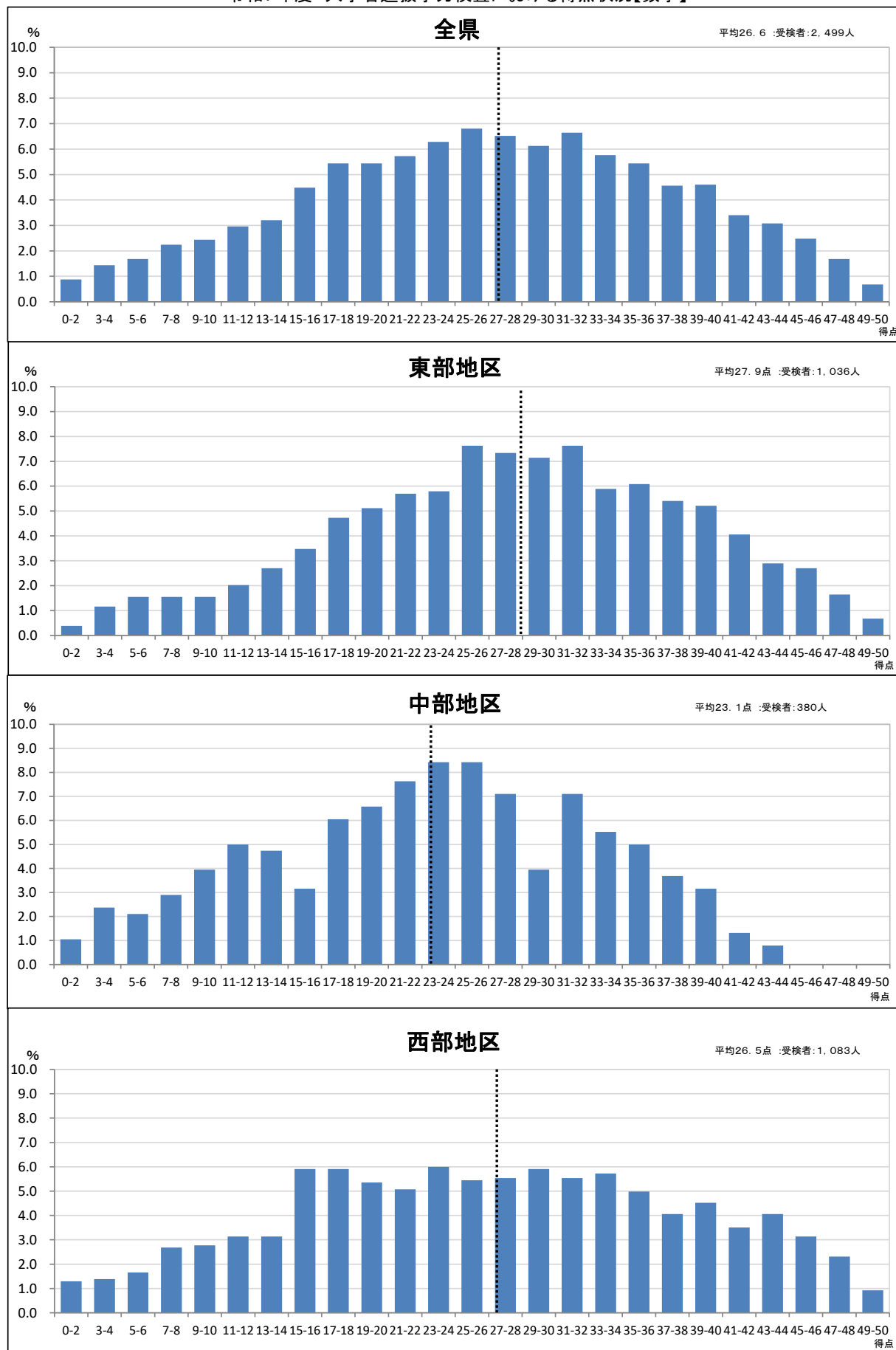
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



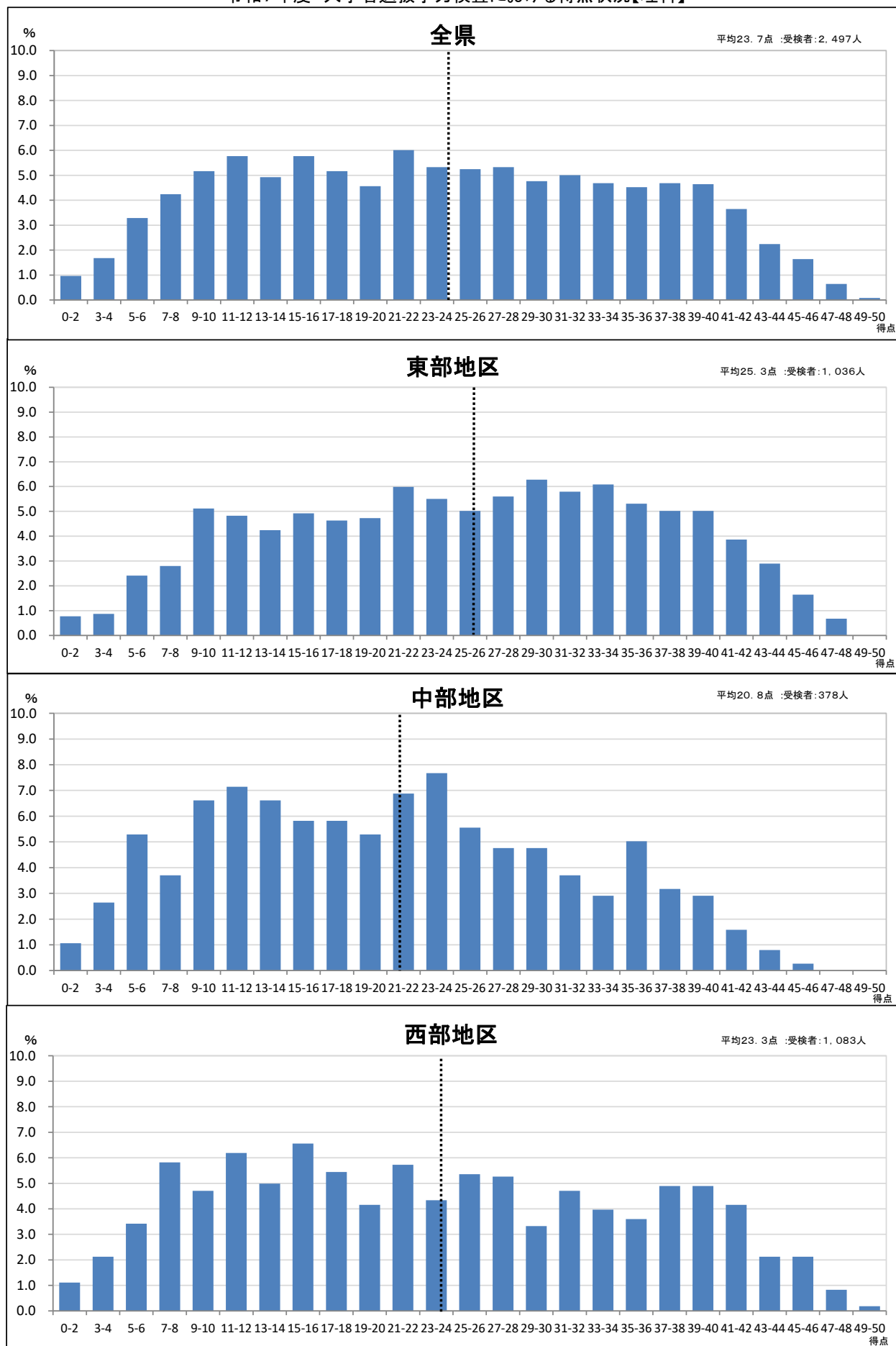
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



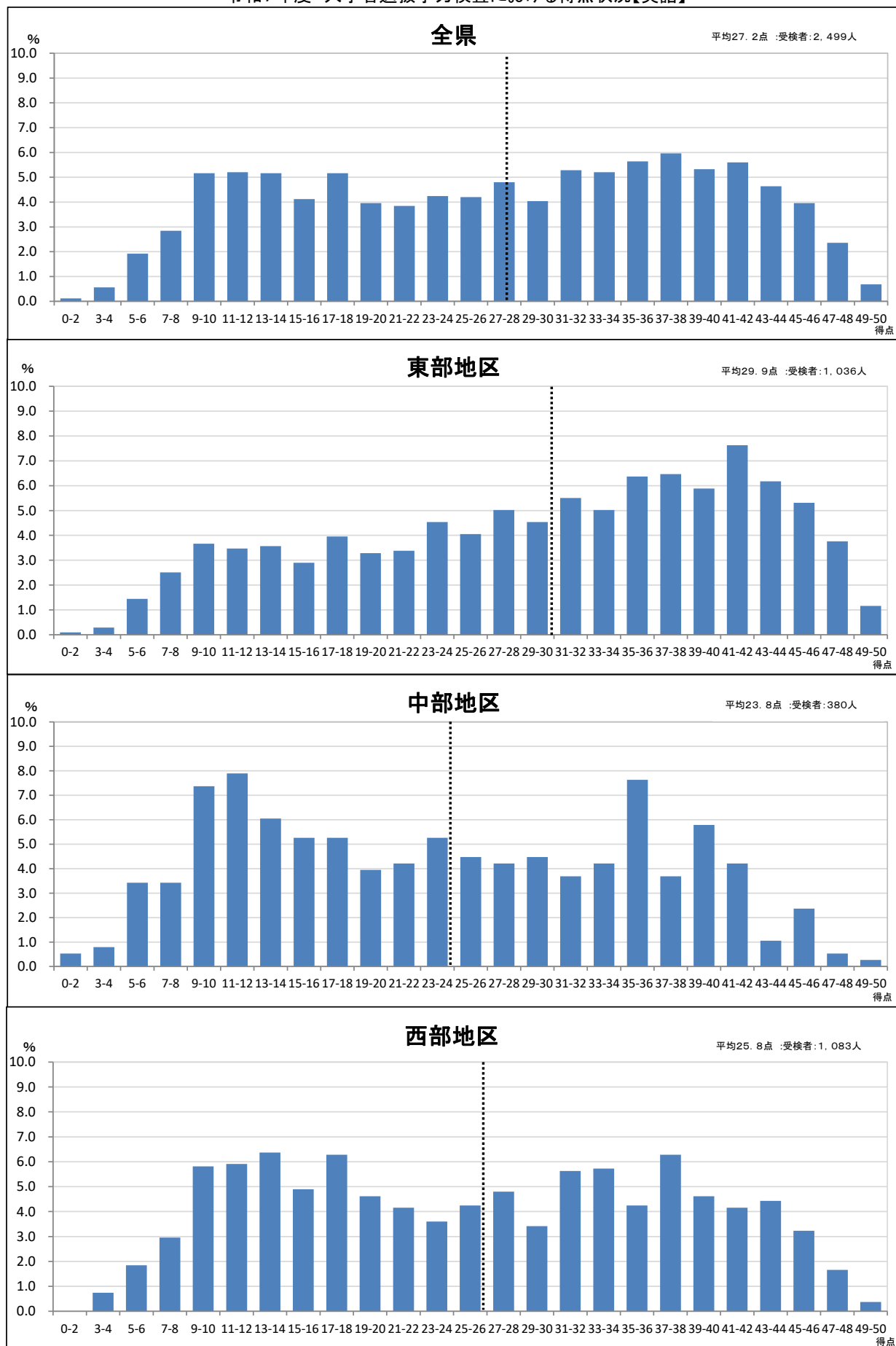
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



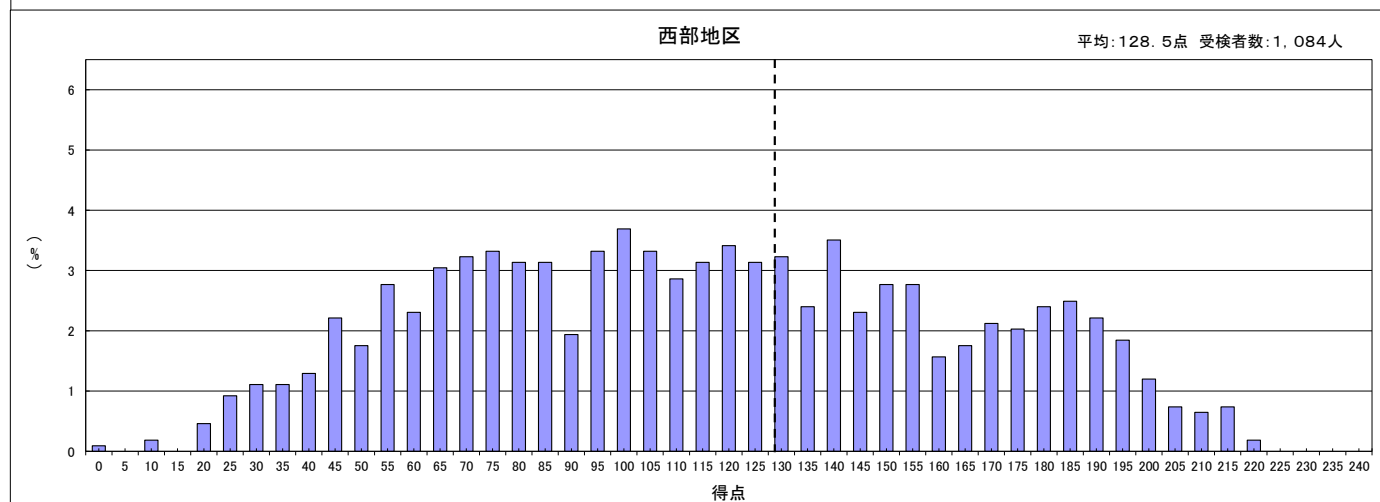
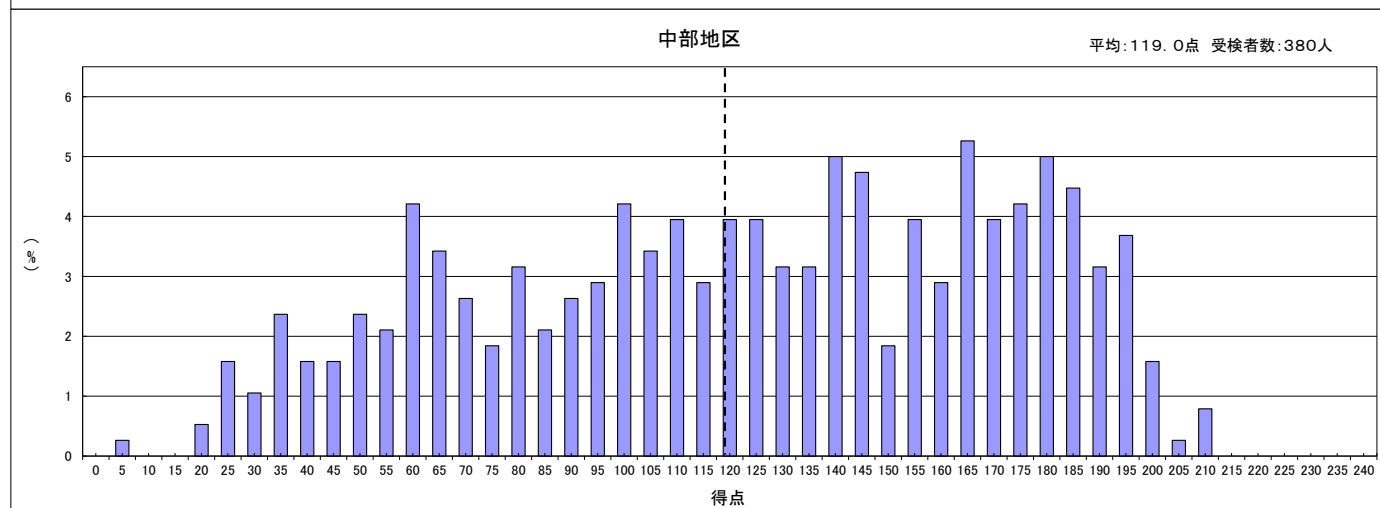
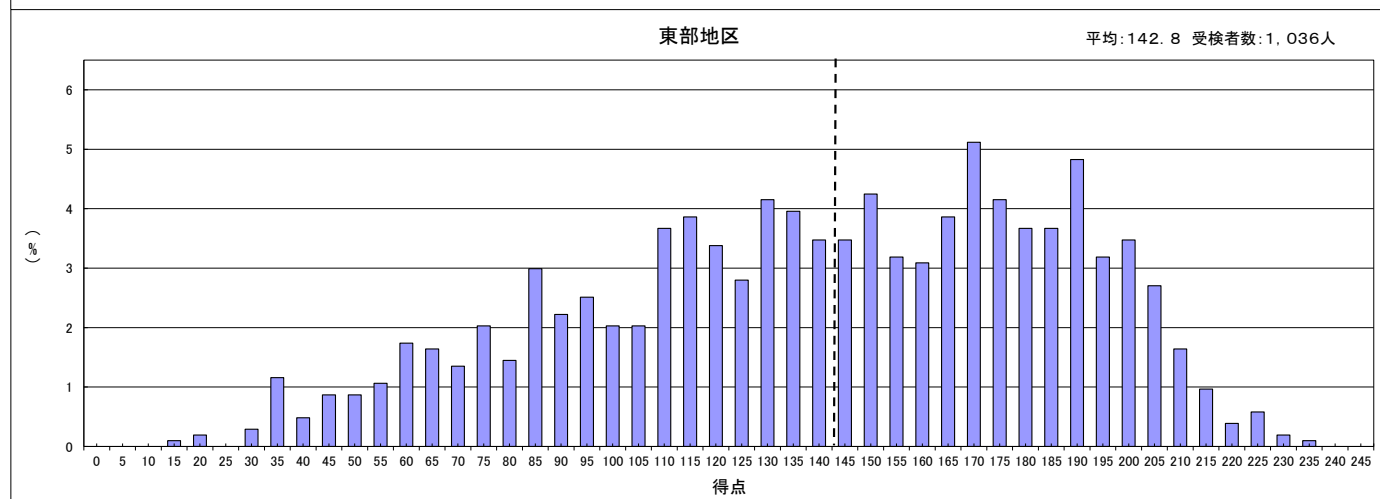
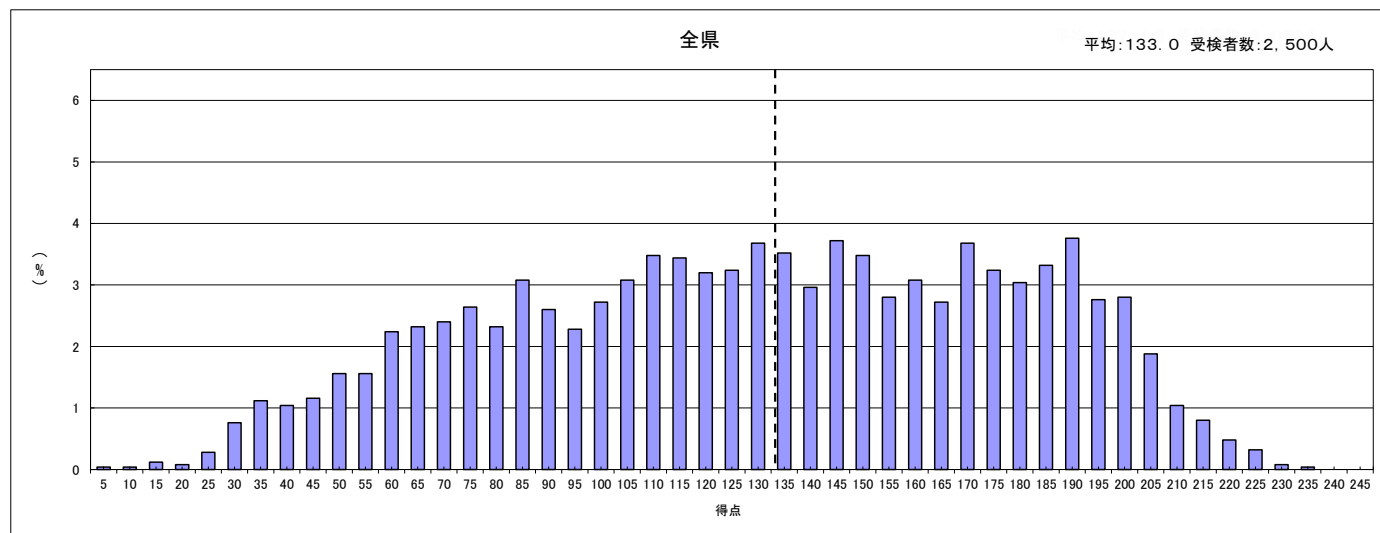
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。